

「誰もが居心地よく歩いて楽しめるまち」の実現に向けて、まちなか共通交通券等のシステム構築により、外縁部の駐車場へ利用者を誘導する。

## テーマ2. まちなか共通交通券等のシステム構築

### 現状

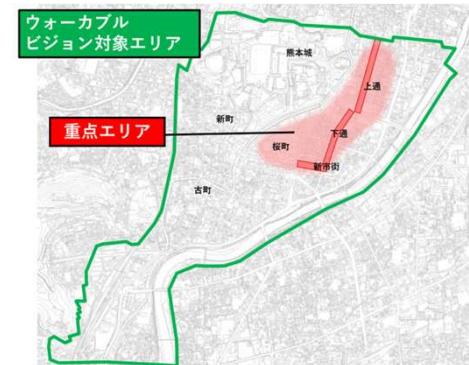
- まちなか（下通・上通・新市街・桜町など）の駐車需要が中心部にある駐車場に集中し、入庫待ち車両の交通渋滞により公共交通の運行や歩行環境等に悪影響が発生
  - 無秩序な駐車場整備に起因する、都市のスponジ化※による都市の魅力や地域経済の低迷
- ※まちなか中心部における低未利用地（平面駐車場等）の増加
- 商店街が発行する既存の交通券等（駐車場や公共交通の割引券）は、紙媒体であり、また商店街で仕様が異なっている状況であるため、共通のシステム構築により、更なる活用が期待される。
  - 利用できる駐車場の情報（所在、料金、満空など）が不足している

### 目指す姿

- まちなかの駐車場利用を分散化させると共に、外縁部の駐車場へ誘導することでまちなかへの自動車流入を抑制し、誰もが居心地よく歩いて楽しめる“人中心”的まちへ

※「まちなか」の対象エリア

⇒熊本市中心市街地ウォーカブルビジョンにおける「重点エリア」を想定



### 解決したい課題

- ① まちなかの外縁部にある駐車場や公共交通に利用者を誘導し、まちなかへの自動車の流入を抑制したい
- ② 利用者を外縁部の駐車場へ誘導するうえで効果的なインセンティブ（駐車場所・時間帯、公共交通利活用などによる料金割引の差別化）を設定できる交通券等のシステムを構築したい
- ③ 仕様の共通化、デジタル化、駐車場情報のリアルタイム発信（所在、料金、満空など）、その他サービスとの連携によるシステム構築により、利用者にとって利便性が高くインパクトのある仕組みとし、発行店舗や利用者の拡大を図りたい

【関連する取組】上通ネットワーク駐車場無料券、下通繁栄会加盟店交通券、店舗等の提携駐車場割引サービス